

## 地域医療に貢献したい

**群** 馬大学大学院医学系研究科を退職後、国民健康保険鬼石病院で4月から診療をする倉林さん。  
「生まれ育った藤岡市に恩返しする」とともに、地域医療に貢献したい気持ちが大い」と語ります。倉林さんは、東京大学医学部卒業後、アメリカのカリフォルニア大学医学部に留学、東京大学医学部助手を務めた後、群馬大学医学部で助教授、教授、内科診療センター長などを歴任しました。心不全や動脈硬化などの循環器内科が専門。「鬼石病院は常勤医が2人。群大の関連病院として、気になっていた人手

不足を補いたかった」と言います。「鬼石地区の人口は5000人ほど。高齢化が大変進んでいます。自分が心不全だと知らずに過ごしている隠れ心不全の人も多いと思います。循環器病の最終コーナーは心不全です。大変な状態になる前に受診して、治療につなげてもらいたい」と専門医として話します。  
今後のことを尋ねると「コロナ前までは毎週のように学会などで全国を飛び回っていました。これからは医師としての本来の現場の仕事ができます。大変、新鮮な気持ちで、家族も喜んでますよ」と微笑んでいました。



4月から鬼石病院で診療する医師

くらばやし まさひこ  
**倉林 正彦**さん

### Profile

1955年藤岡市生まれ。東京大学医学部卒業。群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学教授を退職後、国民健康保険鬼石病院で勤務。

知って得する♪  
**耳より情報**

市内で新たに5カ所  
カラーマンホールふた

下水道についての理解や関心を深めてもらうため、市内2カ所に設置されているカラー着色したマンホールふたを、4月17日(土)~5月5日(祝)に行われる「駅からハイキング」のコース上に、新たに5カ所設置しました。デザインは中央に人物・馬形埴輪、周りに鬼瓦の数珠・雨雲が描かれています。暖かい日が多くなる4月、市内を歩いて見つけてみませんか。  
問い合わせ 下水道課(☎④2327)

